



## みやかわ伸


一人ひとりが主役! 衆議院議員

# カジノ法廃止法案を提出


## カジノで観光立国?

一月二十日に国会が開会しました。安倍首相は施政方針演説において、観光立国の説明の中で「複合観光施設の整備に取り組みます!」と意気込みました。これはカジノのことでしょうか?

以前より、外国人観光客はカジノに興味がないことを指摘し続けています。外国人観光客が行かないのに、なぜ観光のためなのか? 全く理解できません。人の不幸で金儲けするような成長戦略は止めましょう。ノーベル賞を受賞された吉野彰先生の蓄電池や、山中伸弥先生の再生医療など、本当に世の中のためになる技術を使って経済発展していくべきです。



お金を使うのは日本人。  
ギャンブル依存症になるのは日本人。  
では、誰が一番もうけるの?  
米国それとも中国?



Q. IRのどの施設に行ってみたいですか?

国	カジノ	商業施設 ショッピングモール	アミューズメント 施設
アメリカ	11%	32%	23%
オーストラリア	9%	29%	30%
イギリス	4%	27%	21%
フランス	3%	35%	29%
韓国	13%	44%	18%
中国	4%	63%	56%
台湾	10%	50%	55%
香港	8%	45%	59%
タイ	5%	71%	46%
シンガポール	8%	49%	50%
マレーシア	8%	52%	45%
インドネシア	3%	55%	57%
平均	7%	46%	40%

株式会社日本政策投資銀行と公益財団法人日本交通公社が発表した「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査（平成29年度版）」より引用

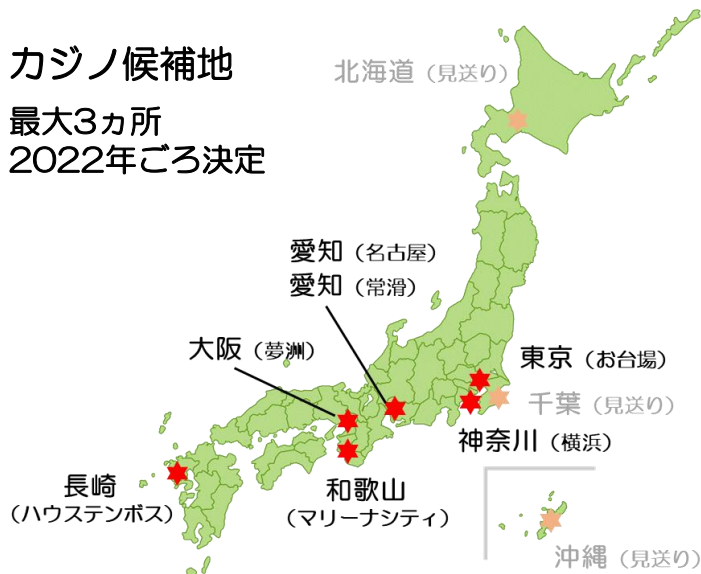
A. カジノに行きたい人は

たったの **7%**

外国人観光客に対して、IRのどの施設に行ってみたいか、アンケート調査が行われました。商業施設やカジノなど8項目から3項目を選んでもらったところ、カジノに行きたいと答えた人はたったの7%しかいなかったそうです。外国人の多くは日本の伝統や文化を楽しむに来るのではないのでしょうか。

古民家での宿泊や伝統あるお祭りなど、外国人の多様なニーズに直ぐに対応できるような「スマホシステム」を作るなど、工夫できることはたくさんあります。短絡的にカジノ

# カジノ候補地 最大3カ所 2022年ごろ決定



衆議院本会議でカジノ法案に関して演説 (2018.06.15)

で儲けよつとするのではなく、地道にアイデアを出して、日本の素晴らしさを打ち出すべきではないでしょうか。

【誰が儲けるの?】  
外国人がカジノに行かないなら、誰がカジノに行くのでしょうか? 日本人です。安倍政権は観光立国のためと言っていますが、お金を使い、ギャンブル依存症になるのは日本人です。

では、誰が儲けるのでしょうか? 日本企業はカジノのノウハウがありません。外国のカジノ企業が参入を狙っているのです。米調査報道専門ニュースサイト「プロパブリカ」によると、トランプ大統領は訪米した安倍首相に対し、カジノ運営大手「ラスベガス・サンス」の日本参入を働きかけたそうです。そして今、安倍政権はアメリカ企業だけでなく、中国企業とも話をしていたことがわかってきたのです。

【強行採決で成立したカジノ法】  
「誰がお金を使って、誰が儲けるのか」この問題は何度も国会で指摘されました。しかし、安倍政権はきちんとした説明をせずに、強行採決でカジノ法を成立させました。しかも、岡山県や広島県が西日本豪雨災害で苦しんでいる時

に、その対応をしなければならぬ。外交大臣が、カジノの審議で国会に缶詰めになっていたのです。

そもそもなぜカジノ法が必要なのでしょう? 日本の刑法では賭博を禁止しています。カジノを作るためには法律改正する必要があります。日本は先進国の中で飛び抜けてギャンブル依存症患者の多い国です。なぜ法律を変えてまで、更に依存症患者を増やすのでしょうか?

【カジノ法廃止に向けて】  
昨年、高校生たちが国会に集まりました。「まじやばい」大入学入試共通テストの問題です。「もう何もしない大人には任せられない」と、自ら四万筆もの署名を集めたのです。その結果、英語民間試験と国語・数学の記述試験は見送りとになりました。国民が動けば世の中は変わることを示してくれました。

人の不幸で金儲けするようなカジノ法は廃止にすべきです。一月二十日にカジノ法廃止法案を野党五党で国会に提出しました。成立に向けて全力で取り組みます。皆さんのお力を是非お貸しください。



## みやかわ伸 プロフィール

- 1970年6月29日生まれ (49歳) 2児の父
- 1986年 船橋市立習志野台中学校卒業 (サッカー部)
- 1989年 県立千葉東高校卒業 (ラグビー部)
- 1999年 東京工業大学卒業 (理学博士、ヨット部)
- 1999年 Univ. of California, San Diego (U.S.A.)
- 2001年 Rensselaer Polytechnic Institute (U.S.A.)
- 2003年 東京大学医科学研究所
- 2005年 バイオベンチャー設立
- 2016年 民進党千葉県第13区総支部長
- 2017年 第48回衆議院議員選挙 初当選 立憲民主党
- 2018年委員会: 安全保障、イノベーション
- 2019年委員会: 経済産業、原子力
- 2020年委員会: 経済産業、原子力、消費者



衆議院千葉県第13区